

地震による電気火災から
自宅と地域を守りましょう

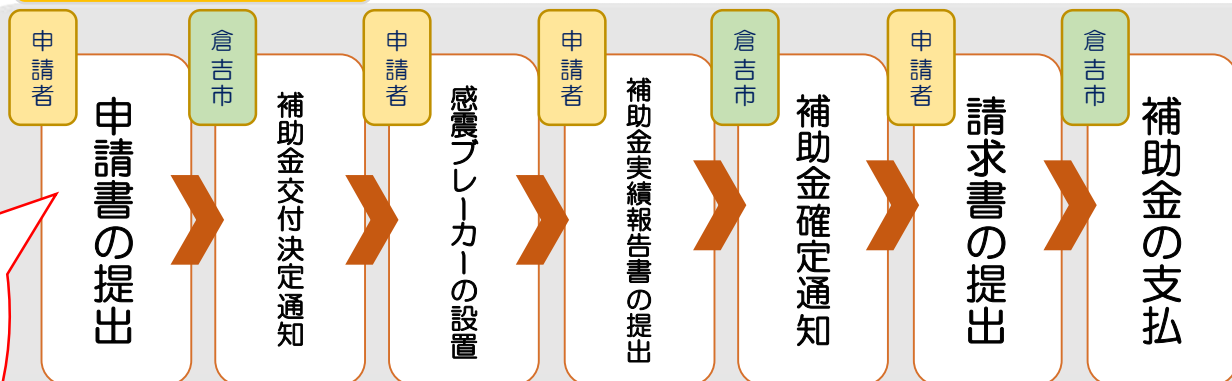
倉吉市 感震ブレーカー設置補助金

感震ブレーカーとは…

揺れを感知した際に電気の供給を自動的に止める装置です。（裏面参照）
倉吉市では、感震ブレーカーの設置・購入費を助成します。

設置対象者	設置する住宅に居住する世帯に属する方 注 申請は1世帯につき1回限り	
	分電盤タイプ	コンセントタイプ 簡易タイプ
対象経費	購入及び設置にかかる費用 注 住宅新築時の設置は対象外	購入にかかる費用
補助率	10/10	
補助限度額	60,000円	20,000円
対象機器	一般社団法人日本配線システム工業会の感震機能付き住宅用分電盤（JWDS0007付2）の規定に定める構造及び機能を有するもの	一般財団法人日本消防設備安全センターによる消防防災製品等推奨証の交付を受けているもの

申請のながれ



必ず購入前に
申請してください。

とっとり電子申請サービスからも申請できます→



【問合せ・申請先】 倉吉市総務部防災安全課
〒682-8611 鳥取県倉吉市葵町722 倉吉市役所本庁舎4階
TEL : 0858-22-8162 Mail : bousai@city.kurayoshi.lg.jp

詳しくは倉吉市HPをご確認ください。
<https://www.city.kurayoshi.lg.jp/8821.htm>



地震での建物火災 >> 約6割が電気火災

感震 ブレーカー 有効

揺れを感知し、電気を自動遮断！

です！

地震による建物火災の半数以上の原因が、電気機器からの出火や停電復旧後の通電で発生する「電気火災」です。防止対策に有効なのが、揺れを感知した際に電気を自動的に止める「感震ブレーカー」。さまざまなタイプがあり、特徴を理解した上で設置しましょう。

分電盤タイプ (内蔵型)



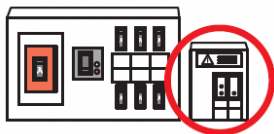
価格:5万~8万円

電盤に内蔵されたセンサーが揺れを感知し、ブレーカーを切って電気を遮断する。

電気工事が必要

工事費:約2~3万円

分電盤タイプ (後付型)



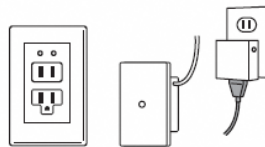
価格:約2万円

分電盤に感震機能を外付けするタイプ。センサーが揺れを感知し、ブレーカーを切って電気を遮断する。

電気工事が必要

工事費:約1万円

コンセント タイプ



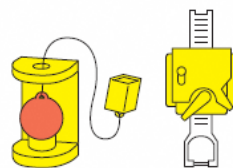
価格:5千~2万円

コンセントに内蔵されたセンサーが揺れを感知し、コンセントから電気を遮断する。

電気工事が不要
※埋込型は必要

工事費:約8千円

簡易 タイプ



価格:2千~4千円

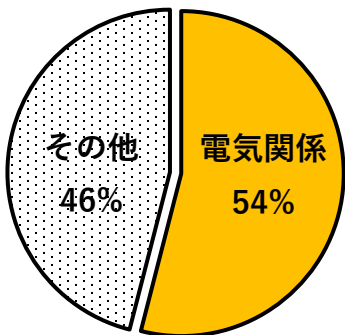
ばねの作動や重りの落下などにより、ブレーカーを切って電気を遮断する。

電気工事が不要

工事費不要

※電気工事費(概算)は目安であり、設置する建物等の状況により異なります。

東日本大震災時に発生した火災原因



電気火災の例

- ◆ 家具の転倒により電気コードが損傷し、停電が復旧したことによりショートして着火
- ◆ 白熱灯などが転落・落下し、可燃物に着火
- ◆ 転倒・落下した可燃物が電気ストーブなどの電熱器具に接触して着火

※出典: 日本火災学会誌「2011年東日本大震災 火災等調査報告書」



協議会HP



電気工業
工業組合HP

鳥取県感震ブレーカー普及協議会

●お問い合わせ先

事務局: 0857-26-7082 (鳥取県消防防災課)

電気工事の御相談: 0857-24-9213 (鳥取県電気工業業工業組合)